

開講年度	2024		開講学期	春学期	
科目コード	ZH0246		授業コード	40398	
科目名	ポピュラーカルチャー研究（オンデマンド型/水曜日配信）		開講曜日・時限	集中講義	
担当教員名【代表】	石毛 弓（Yumi Ishige）				
担当教員					
授業形態	講義				
単位数	2単位				
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。				
授業の目的	自分をとりまく文化・社会を客観的に分析し、それがどのように現代社会や自己の形成（アイデンティティ）に影響しているのかを説明することができるようになる。とくに、日本と日本以外の文化の比較を通じてポピュラーカルチャーの特徴を表現できるようになる。				
授業の内容					
①能力開発メソッド	レポート、プレゼンテーション、課題				
②課題レポート等	毎回の宿題、プレゼンテーション課題、レポート課題（課題提出の時期は授業中に指示）				
③授業概要	オンデマンド教材を用いる el-Campusを利用する ※課題には提出期限が設けられている。期限外の提出は原則認められない。最後の方になって一気に教材を視聴しても、課題が提出期限外になっている場合があるので注意する。※				
授業時間外学習	・毎回の授業最後に提示される課題 ・上述とは別にプレゼンテーション課題とレポート課題がある（各1回）				
授業計画					
	目的	主題	概要	授業時間外学習	
01	知識／能力	知識：ポピュラーカルチャー概論	「ポピュラーカルチャー」というコンセプトについての概説	授業中の指示による予習（おもにel-Campusを利用）	
02	知識／能力	知識：「文化」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の意見を参照する	・「文化（カルチャー）」という概念の発生 ・現代における「文化」の概念 ・サブ・カルチャーという概念	授業中の指示による予習（おもにel-Campusを利用）	
03	知識／能力	知識：「マンガ」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「マンガ」からみる日本	授業中の指示による予習（おもにel-Campusを利用）	
04	知識／能力	知識：「マンガ」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「マンガ」からみる世界	授業中の指示による予習（おもにel-Campusを利用）	
05	知識／能力	知識：「アニメ」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「アニメ」からみる日本	授業中の指示による予習（おもにel-Campusを利用）	
06	知識／能力	知識：「アニメ」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「アニメ」からみる世界	授業中の指示による予習（おもにel-Campusを利用）	

07	知識／能力	知識：「テレビドラマ」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「テレビドラマ」における需要と供給と越境	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
08	知識／能力	知識：「ミュージック」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「ミュージック」の中でもとくに日韓のポップミュージックの考察	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
09	知識／能力	知識：「コンテンツ・ツーリズム」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「芝居」という手法、とくに演劇におけるメディアミックスの分析	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
10	知識／能力	知識：グローバルとローカルI 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人と意見交換をする	・「ツーリズム」におけるコンテンツ・ツーリズムの性格と課題	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
11	知識／能力	知識：ポピュラーカルチャーに関連した「イベント」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「イベント」の中でも、日本におけるポピュラーカルチャー、サブカルチャーのイベントを考察	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
12	知識／能力	知識：ポピュラーカルチャーに関連した「イベント」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「イベント」の中でも、世界におけるポピュラーカルチャー、サブカルチャーのイベントを考察	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
13	知識／能力	知識：ポピュラーカルチャーと「アイデンティティ」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「アイデンティティ」という概念と他者性	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
14	知識／能力	知識：ポピュラーカルチャーにおける「地域性」について 能力：授業で学んだことについて自分の考えを書く・他人の考えを参照し理解する	・「地域性」からみたポピュラーカルチャーとその越境	授業中の指示による予習 (おもにel-Campusを利用)
15	知識／能力	全体のまとめ	・1～14回の総まとめと確認	

到達目標と学習成果

①知識レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ポピュラーカルチャー」という概念と特徴を理解する</li> <li>・自分をとりまく文化の特徴を認識する</li> </ul>
②能力レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポピュラーカルチャーの概念を理解したうえで、自己と文化の関係性について、具体的な例を用いてレポートを書くことができる</li> </ul>

・ポピュラーカルチャーの概念を理解したうえで、自己と文化の関係性について、具体的な例を用いてプレゼンテーションすることができる

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	1	プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	
創造力	1	計画力		論理的思考力		分析力	1
チームワーク力		社会的責任	2				

成績評価の基準と方法	<p>各回の課題状況 (30%)          プレゼンテーション課題 (30%)          レポート試験 (40%)</p> <p>1. 課題やレポートにたいして必要な調査ができています。かつ論理的に表すことができています          2. 意見に独創性がある          ※あたえられたテーマを、ポピュラーカルチャーの文脈で理解し、自分の考えを表すことができるかどうか成績評価の基準となる</p> <p>D: 1および2ともに充分であるとはいえない (課題やレポートは提出されている)          C: 1もしくは2のどちらかが充分とはいえない          B: 1および2ともに充分である          A: 1および2のうち最低どちらかに、ポピュラーカルチャーの文脈に基づいた高い問題意識がみられる          ※課題やレポートに著しい不備がみられる場合 (例: 剽窃・盗作など)、成績は極端に下がります</p>						
------------	---	--	--	--	--	--	--

教科書	<p>とくになし          授業内容に応じて資料を配布</p>						
-----	---	--	--	--	--	--	--

参考図書	<p>上野 俊哉、毛利 嘉孝『カルチュラル・スタディーズ入門』筑摩書房、2000          高馬京子・松本健太郎『越境する文化・コンテンツ・想像力』ナカニシヤ出版、2018</p> <p>他、授業中に適宜紹介</p>						
------	--	--	--	--	--	--	--

授業に関する質問等の方法	<p>初回授業で担当教員に確認をしてください。</p>						
--------------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--

備考							
----	--	--	--	--	--	--	--